

開館 10 周年記念
洞爺湖芸術館コレクション企画 ビッキ月間

ART
GALLERY
HOKKAIDO
アートギャラリー北海道

「神々の遊ぶ庭」



砂澤ビッキ作「樹蝶」1977年 H86cm×W120cm×D18cm
(中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 蔵)

2018. 6.2 (土) ▷ 7.1 (日)

【開館時間】 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

【入館料】 一般 300 円、高校生 200 円、小中学生 100 円 (洞爺湖町民無料) ※その他割引あり

【期間中の休館日】 6/4 (月)、6/11 (月)、6/18 (月)、6/25 (月)

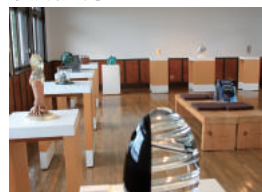
◆ 6/2 (土)、6/16 (土) はイベントのため一部で鑑賞になれません。

同時開催



デイビッド ミドルトン
写真展

収蔵展示



国際彫刻ビエンナーレ作品

【主催】 洞爺湖芸術館 【共催】 洞爺湖町
【協力】 洞爺観光ホテル・(株)高橋建設・洞爺温泉病院・伝建設(株)・伊達信用金庫・高清水建設(株)・
乃の風リゾート・幸清会・(有)エフピーシステム・(株)ゴウダ・ひかり薬局・ケアライフ(株)・
セブン-イレブン洞爺湖温泉店



洞爺湖芸術館
TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町 96
TEL & FAX 0142-87-2525
<http://www.geijutukan.net>

ビッキ月間「神々の遊ぶ庭」展

雄大な大雪山を、アイヌの人たちは『カムイミンダラ』＝『神々の遊ぶ庭』と呼んでいました。砂澤ビッキは、20代の頃、この大雪山の威容と神秘性を絵画で表現しましたが、なにかわだかまりが残ったままだったといひます。しかし、勇駒別「こまくさ荘」から、彫刻依頼を受けて現場を見た時そのわだかまりが氷解し、カムイミンダラの構想ができあがったと述べています。

今回の特別展では旭川市彫刻美術館所蔵のレリーフ「カムイミンダラ」の一部、樹蝶と樹鮭をお借りして展示します。樹蝶と樹鮭は、大雪山のお花畑に舞う蝶と、大雪山を源に石狩川を遡上する鮭「あきあじ」を表現した作品です。また、ビッキ文様といわれる独特のデザインを施した、小さな木彫作品やドローイングも多数展示します。



撮影：井上 浩二

砂澤ビッキ（1931～1989）

【略年譜】

- 1931年 旭川市に生まれる。本名は恒雄（ひさお）、ビッキは幼少時からの愛称。
- 1952年 上京、独学で絵画・彫刻を学ぶ。
- 1955年 モダンアート協会展（東京）入選。
- 1959年 北海道に戻り、以降東京を中心に個展を開催。
- 1983年 カナダ北西海岸に滞在。バンクーバーで制作、個展を開催。
- 1989年 神奈川県立県民ホール「現代作家シリーズ'89 上野憲男・砂澤ビッキ・吹田文明展」1月22日のオープニングに病をおして出席。
1月25日 札幌にて没（享年57歳）
- 1990年 北海道立旭川美術館で「砂澤ビッキ」展。公立美術館での初めての遺作展。
- 1994年 北海道立近代美術館で本格的な回顧展「TENTACLE 砂澤ビッキ展」開催。
- 2017年 4月8日～6月18日 神奈川県立近代美術館にて「砂澤ビッキ展—木魂を彫る—」が開催された。北海道以外では公立美術館での初めての個展。

会期中イベント

○縄文太鼓演奏

出演：茂呂 剛伸 氏 他

縄文土器にも大いに啓発された砂澤ビッキにちなみ、縄文の響きを追求する茂呂剛伸がビッキの彫刻の中で演奏します。

日時：2018年6月2日（土）午後2時～3時半

場所：洞爺湖芸術館 1階 砂澤ビッキ展示室

料金：無料（要入館料） ※洞爺湖町民無料

定員：先着50名 ※要申込み



〈茂呂 剛伸 略歴〉

ジャンベ太鼓・縄文演奏家

自ら制作した土器の太鼓「縄文太鼓」を、ジャポニズムとアフリカを融合した独自の演奏スタイルで独奏する太鼓演奏家。「縄文太鼓の演奏と制作」を通じ、北海道から世界に向けて北海道の縄文芸術や縄文文化の素晴らしさを発信しています。

2013年、出雲大社「平成の大遷宮」にて奉祝奉納演奏。2017年、フランスパリ日本文化会館にて縄文太鼓展示会と演奏会を開催。

●縄文太鼓とは

茂呂氏は、北海道江別から出土された約4500年前の土器をモチーフとし、縄文土器を復元しエゾシカ革を張って、太鼓として演奏することを創造。古の記憶を新たな創造性により現在に投げかけることで、産業革命以来我々が置き去りにしてきた大いなるアニミズムをその悠久の響きに語らせ続けるとしています。

○ギャラリートーク

浅川 泰 氏（元 道立近代美術館学芸部長）

第一部 砂澤ビッキの彫刻——円空から考える

第二部 対談：レリーフ「カムイミンダラ」について

日時：2018年6月16日（土）午後2時～3時半

場所：洞爺湖芸術館 1階 砂澤ビッキ展示室

料金：無料（要入館料） ※洞爺湖町民無料

定員：先着50名 ※要申込み



〈浅川 泰 略歴〉

1950年 足寄町生まれ。

1974年 慶應義塾大学文学部卒業。

1977～2016年 北海道開拓記念館、道立近代美術館（2004～2011年、学芸部長）、道立旭川美術館、道立帯広美術館、道立文学館の学芸員を歴任。専門分野 美学美術史

著書『砂澤ビッキ——風に聴く』：

ミュージアム新書16（北海道新聞社1996年）